

令和2年度

# 適性検査 B

注 意

- 1 問題は [1] から [3] までで、13ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は40分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **性別・受検番号**は解答用紙の決められた欄<sup>らん</sup>2か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立大宮国際中等教育学校

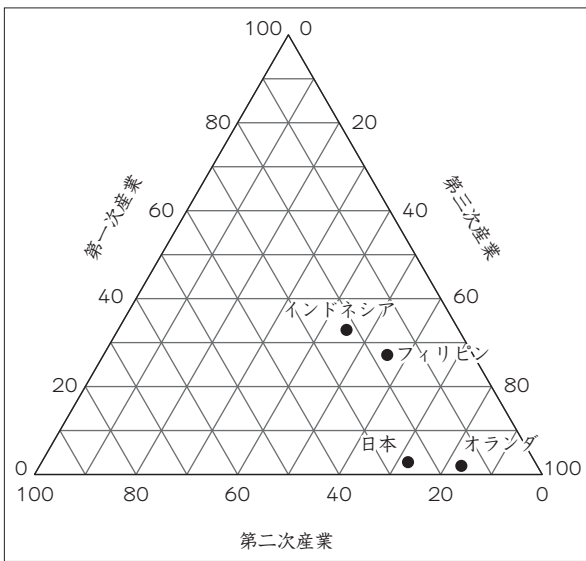
1

総合的な学習の時間に、太郎さんと花子さんのグループは、日本の産業について調べるようになりました。

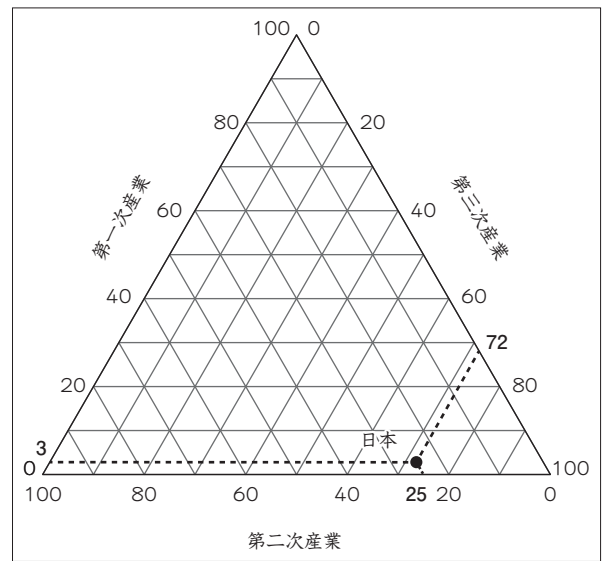
次の問1～問5に答えなさい。

太郎さんが、日本の産業について調べていると、世界の産業別人口の割合に関する資料1を見つけました。

資料1 世界の産業別人口の割合 (%)



【先生がつくった図】



(独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2018」をもとに作成)

【太郎さんたちの会話①】

太郎さん：おもしろい形の図を見つけました。資料1を見てください。

先生：この図は、産業別人口の割合を国ごとに表しているものです。第一次産業は農業、林業、漁業、第二次産業は製造業、工業、建設業、第三次産業はそれら以外の商業やサービス業などを表しています。

花子さん：なるほど。おもしろい図なのですが、読み方がよくわかりません。どのように読めばよいのでしょうか。

先生：日本について、抜き出して説明します。【先生がつくった図】を見てください。三角形のそれぞれの辺に書いてある目盛りを読みます。たとえば、日本で働いている人口のうち、第一次産業の割合は約3%、第二次産業の割合は約25%、第三次産業の割合は約72%となります。

太郎さん：日本は、第一次産業で働く人口の割合がもっとも低いですね。

先生：そうですね。資料1では他に、オランダ、フィリピン、インドネシアの3か国の産業別人口の割合が示されています。資料1からどのようなことが読み取れるのでしょうか。

問1 【太郎さんたちの会話①】を読み、資料1から読み取れることとして適切でないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア インドネシアの第一次産業の人口の割合はオランダ、フィリピンの割合よりも高い。
- イ フィリピンの第二次産業の人口の割合は20%以下である。
- ウ オランダの産業別人口の割合でもっとも高いのは第三次産業である。
- エ オランダ、フィリピン、インドネシアの3か国とも、第一次産業の人口の割合が産業別人口の割合のなかでもっとも低い。

**【太郎さんたちの会話②】**

先生：資料1を使って問題を作ってみました。みなさんのグループで考えてみてください。

花子さん：はい。どのような問題ですか。

先生：次の【条件】から、中国を示す点が資料1のどの三角形に入るのかを考えてください。

太郎さん：どうやって答えればよいですか。

先生：中国を示す点が入る三角形を、1つだけ塗りつぶしてください。

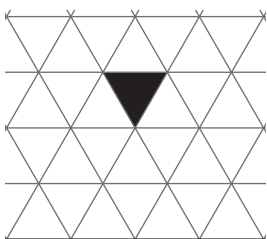
太郎さん：わかりました。頑張ってみます。

**【条件】**

- ・中国の第一次産業で働く人口の割合は、10%以上30%以下である。
- ・中国の第二次産業で働く人口の割合と日本の第二次産業で働く人口の割合の差は、4%以内である。
- ・中国の第三次産業で働く人口の割合は、約44%である。

問2 【条件】をもとに、中国を示す点がどの三角形に入るか【例】にならって解答用紙の図の中の三角形を1つだけ塗りつぶしなさい。

**【例】**



### 【太郎さんたちの会話③】

太郎さん：日本では、第一次産業で働いている人の割合は少ないですね。第一次産業を活性化することはできないのでしょうか。

花子さん：第一次産業の活性化について調べたところ資料2を見つけました。

太郎さん：「6次産業化」とは何ですか。

先生：第一次産業で働いている人たちが、生産したものを加工し、販売<sup>はんばい</sup>までを行うことです。

太郎さん：加工とは、何でしょうか。

先生：加工とは、原料や素材に手を加え、もとのものに価値をつけることをいいます。

花子さん：「6次産業化」には、どのようなよい点があるのでしょうか。

先生：第一次産業で働く人の収入<sup>しゅうにゅう</sup>が増えたり、仕事の幅<sup>はば</sup>が広がったりすることで、第一次産業全体の活性化につながると考えられます。

太郎さん：「6次産業化」について、農業、林業、漁業の中から1つ具体的な例をあげるとしたらどのようなものがあるのでしょうか。

花子さん：例えば、 というのでしょうか。

先生：そのとおりです。生産、加工、販売までの流れが具体的に説明されていて、とてもよい例ですね。

問3 【太郎さんたちの会話③】にある空らん  にあてはまる内容を具体的に書きなさい。

### 資料2 「6次産業化」についての説明

「6次産業化」とは、農林漁業者が生産・加工・販売のすべてを行うことです。生産部門の第一次産業、加工部門の第二次産業、販売部門の第三次産業の、1、2、3をかけ算して6になることから、6次産業化といわれています。

(政府広報オンライン「暮らしに役立つ情報」をもとに作成)

次に、太郎さんと花子さんのグループは、日本の林業や森林についてくわしく調べることにしました。

#### 【太郎さんたちの会話④】

太郎さん：日本には、どれくらい森林があるのでしょうか。

先生：日本の国土面積の約66%は森林です。資料3を見てください。日本の森林面積はここ数十年、ほぼ変わっていないことがわかりますね。

花子さん：では、林業に※従事する人の数はどうでしょうか。

先生：林業従事者数を表した資料4、資料5があるので、見てみましょう。

花子さん：林業従事者数は、昭和55年から平成27年まで減少していますね。

先生：資料4にある折れ線グラフの  は、35歳未満の従事者の割合を表し、折れ線グラフの  は65歳以上の従事者の割合を表しています。

太郎さん：どうしてそのことがわかるのですか。

先生：資料5の数値を用いて計算すればわかりますよ。

太郎さん：なるほど。林業従事者数は減少していますが、35歳未満の林業従事者の割合は平成2年に比べ、平成27年は増えていますね。

先生：そのとおりです。では、次に世界の森林の問題点についても考えてみましょう。

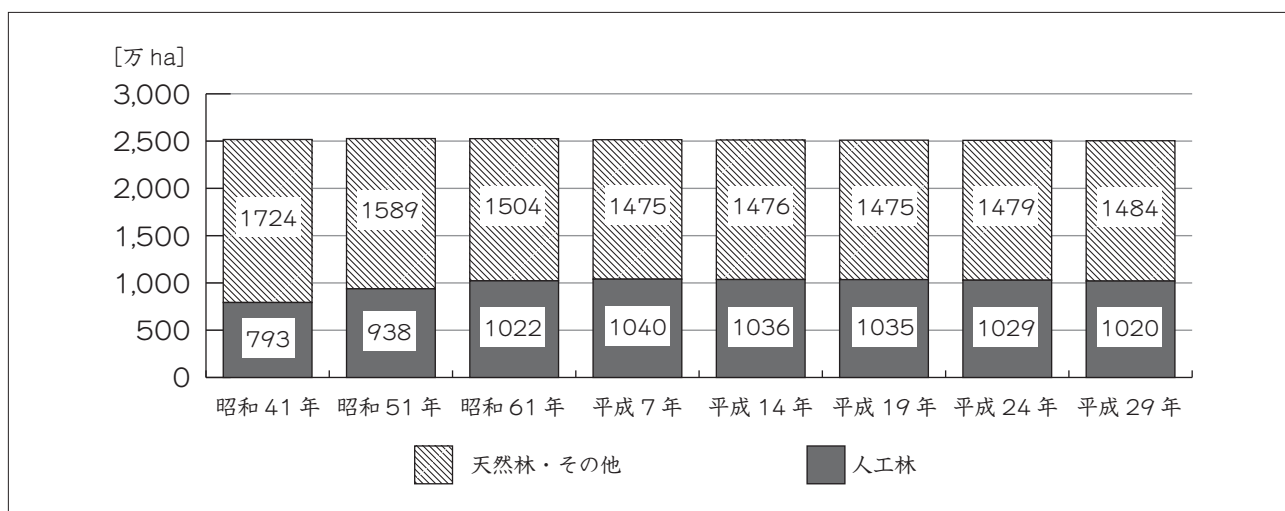
花子さん：世界には開発による森林伐採などが進み、授業で学習した森林のはたらきが発揮されなくなってしまう国もあると聞いたことがあります。日本だけでなく、世界の森林についても考えていきたいと思います。

太郎さん：森林を守るために、割り箸の代わりに「マイ箸」を持参し、使用している人を見たことがあります。わたしも、森林を守るためにできることから始めたいと思います。

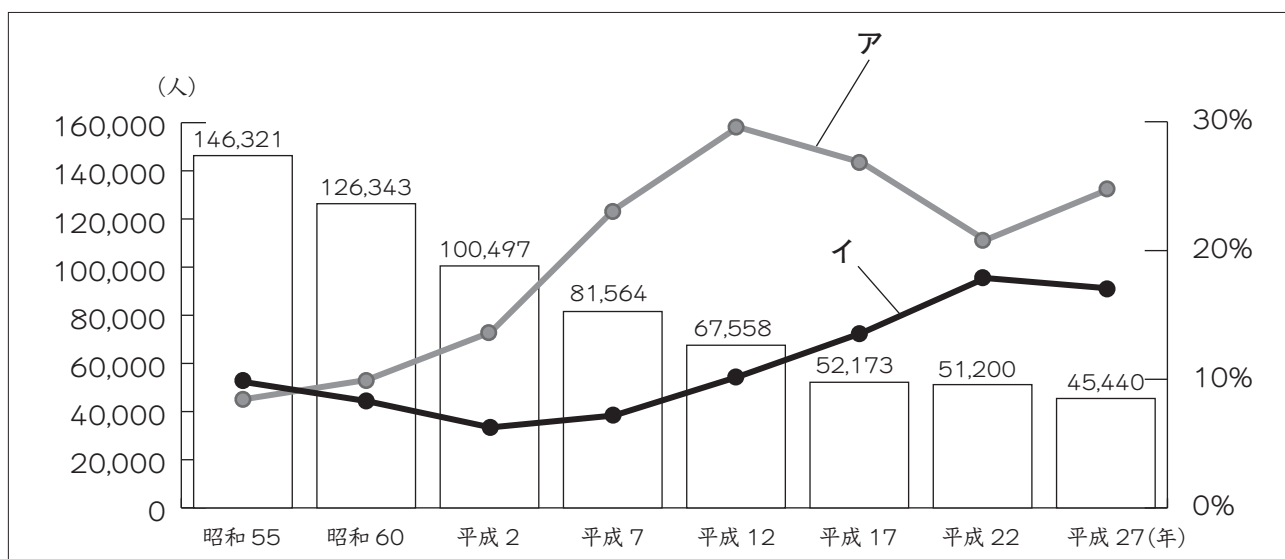
※ 従事…仕事にたずさわること。

問4 【太郎さんたちの会話④】にある空らん  、  には資料4の中のア、イのどちらのグラフがあてはまるか、記号で答えなさい。

### 資料3 日本の森林面積の変化



### 資料4 林業従事者数の変化を表したグラフ



### 資料5 林業従事者数の変化を表した統計

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
林業従事者の人数	146,321	126,343	100,497	81,564	67,558	52,173	51,200	45,440
林業従事者のうち35歳未満の人数	14,397	10,548	6,339	5,892	6,913	7,119	9,170	7,770
林業従事者のうち65歳以上の人数	12,419	12,638	13,777	18,936	20,024	14,026	10,680	11,270

(資料3、資料4、資料5は林野庁のウェブサイトをもとに作成)

【太郎さんたちの会話④】の下線部「森林のはたらきが発揮されなくなってしまう」ことについて、花子さんは、森林のはたらきが発揮されなくなると、どのような問題が起こると考えられるかを調べ、次の【花子さんがまとめたメモ】にまとめました。

問5 【花子さんがまとめたメモ】にある空らん 、 にあてはまる内容を書きなさい。

【花子さんがまとめたメモ】

○森林のはたらきが発揮されなくなったことで起こると考えられる問題

- ・森林は「緑のダム」とも呼ばれており、森林伐採が進むと  ので、洪水こうずいが起こると考えられる。
- ・森林伐採が進むと、森林が二酸化炭素を吸収したり、たくわえたりすることができなくなってしまうので、 という環境問題かんきょうもんだいが起こると考えられる。

太郎さんは、おじいさんの誕生日におじいさんの家を訪ね、様々な話をしました。

次の問1～問5に答えなさい。

【太郎さんとおじいさんの会話①】

太郎さん：おじいさん、お誕生日おめでとう。

おじいさん：ありがとう。この前、還暦を過ぎたと思ったが、時間がたつのは早いな。

太郎さん：還暦って何？

おじいさん：干支って聞いたことあるかな？

太郎さん：あるよ。年賀状に印刷されている動物だよ。12種類あって、12年でひと回りするんだよ。今年、2020年は、「ね」のねずみ年だよ。

おじいさん：よく知っているね。でも、それは十二支で、実は他に十干というものがあって、それを合わせた十干十二支のことを干支というんだよ。

太郎さん：えっ、そうなの？ 十干って何？

おじいさん：木、火、土、金、水の5つに対して、それぞれ「陽」と「陰」の意味を持つ「え」と「と」を組み合わせたものが十干と呼ばれるものなんだよ。例えば、「木」と「え」を組み合わせたものは、「きのえ」と呼んで、漢字では「甲」と書くんだよ。では、「水」と「と」を組み合わせると何になるかわかるかな。

太郎さん：「みずのと」かな。そうすると、木、火、土、金、水の5つに対して2種類ずつあるから組み合わせは10種類だね。

おじいさん：そうだよ。十干は、10種類あるから10年でひと回りするんだよ。

十干と十二支の順番を書くとそれぞれこうだよ（資料1、資料2）。十干のあとに十二支をつけて表すので、2020年は「かのえね」の年だよ。2019年は「つちのとい」、2021年は「かのとうし」だ。では、2024年の十干十二支は何になるかな。

太郎さん：「きのえたつ」かな。

おじいさん：そのとおり。では、太郎が生まれた年の十干十二支は何になるかな。

太郎さん：ぼくは、2007年のいのしし年生まれだから、十干十二支だと「い」の年だね。

おじいさん：よくわかったね。十干十二支は、10個の十干と12個の十二支が順に合わさるから組み合わせがずれていくんだよ。そして、60年たつと同じ十干十二支がめぐってくるんだ。だから60歳になる年のことをひとめぐりという意味の「還」を使って還暦というんだよ。なぜ十干十二支は60年でひとめぐりするかわかるかな。

太郎さん：60は10と12のだからじゃないかな。

おじいさん：そう、よくわかったね。じゃあ、わたしの生まれ年の十干十二支は何の年だったかな。

太郎さん：①おじいさんの生まれた年は、「かのとう」の年だね。

おじいさん：そのとおり。太郎はこういうのが得意なんだな。

太郎さん：おじいさんが100歳になったら、ぼくが盛大なパーティを考えるね。



資料1 おじいさんが書いた十干の順

読み	きのえ	きのと	ひのえ	ひのと	つちのえ	つちのと	かのえ	かのと	みずのえ	みずのと
漢字	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸

(注) 「き」が木、「ひ」が火、「つち」が土、「か」が金、「みず」が水を表します。

資料2 おじいさんが書いた十二支の順

読み	ね	うし	とら	う	たつ	み	うま	ひつじ	さる	とり	いぬ	い
漢字	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥

問1 【太郎さんとおじいさんの会話①】にある空らん  にあてはまる十干をひらがなで書きなさい。

問2 【太郎さんとおじいさんの会話①】にある空らん  にあてはまる言葉を漢字5字で書きなさい。

問3 【太郎さんとおじいさんの会話①】にある下線部①をもとに、おじいさんの年齢<sup>ねんれい</sup>を答えなさい。

太郎さんは、十二支に興味を持ち調べてみました。

**【太郎さんが十二支について調べてわかったこと】**

十二支は、方位の表し方にも使われていたことがわかった。

方位は、北から時計回りに子から亥まで十二支の順に、均等に配置されている。南と西の間を南西というように、「丑<sup>うし</sup>」と「寅<sup>とら</sup>」の間の方角を「丑寅<sup>うしとら</sup>」という。

また、太陽が午の方角である真南にくるのを「正午<sup>しょうご</sup>」といい、その前が「午前」、あとが「午後<sup>ご</sup>」と呼ばれ、現在も使われていることがわかった。

問4 【太郎さんが十二支について調べてわかったこと】の内容から、「辰巳<sup>たつみ</sup>」の方角を、次のア～クの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 東	イ 西	ウ 南	エ 北
オ 北東	カ 南東	キ 北西	ク 南西

太郎さんは、学校のレクリエーションで行う「算数クイズ」について、おじいさんに相談をしました。

**【太郎さんとおじいさんの会話②】**

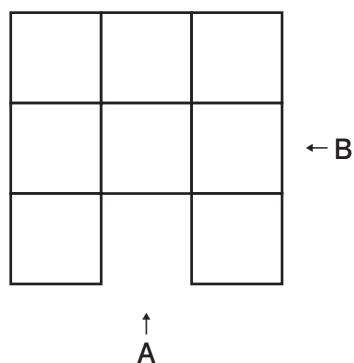
太郎さん：ぼくが今考えているのは、「立方体を積み上げた形」を作るのに、全部で何個の立方体が使われているかを答えてもらうクイズなんだ。まずは「立方体を積み上げた形」を真上から見た図を見せて考えてもらおうと思っているよ。

おじいさん：「立方体を積み上げた形」を真上から見た図だけでは、何個の立方体が使われているかはわからないね。

太郎さん：うん。だから、ヒントとしてAから見た図とBから見た図を見せて、この3つの図をもとに答えを考えてもらおうと思うんだ。

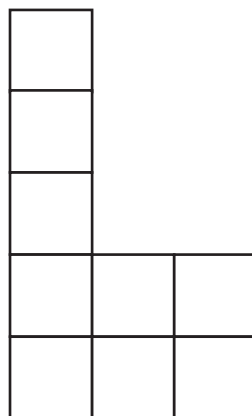
おじいさん：それはとてもおもしろいね。みんなも喜ぶと思うよ。

「立方体を積み上げた形」  
を真上から見た図

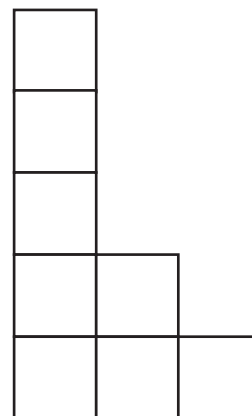


ヒント

Aから見た図



Bから見た図



問5 「立方体を積み上げた形」は、全部で何個の立方体が使われていると考えられますか。最も少ない場合の数と、最も多い場合の数をそれぞれ答えなさい。

3

花子さんは、授業の予習として日本の世界自然遺産<sup>せかいしぜんいさん</sup>について調べていたとき、日本の森について書かれた本を図書館で見つけ、読んでみることにしました。

次の文章は、内山節<sup>うちやまたかしちよ</sup>著「森にかよう道——知床<sup>しれとこ</sup>から屋久島<sup>やくしま</sup>まで」(新潮社<sup>しんちょうしゃ</sup>)の一部です。これを読んで、問1～問6に答えなさい。

内山節著「森にかよう道 知床から屋久島まで」新潮社  
10ページ2行目から11ページ15行目の文章による。

著作権法上の都合により、掲載できません。

(一部省略や、ふりがなをつけるなどの変更<sup>へんこう</sup>があります。)

- ※1 屋久杉…鹿児島県屋久島に自生する杉。二千年を超える巨木もみられる。
- ※2 林相…木の種類や生え方などによる、森林の様子・形態。
- ※3 矛盾…くいちがい。
- ※4 共振…互いに影響を与え合うこと。
- ※5 刹那的…時間がきわめて短いさま。

問1 二重下線部「老木」とありますが、これと同じ構成の熟語を、次のア～カの中から2つ選び、記号で答えなさい。

ア 勝敗      イ 形成      ウ 曲線      エ 因果      オ 不安      カ 高山

問2 下線部①「森の時間」とありますが、ここでいう「森の時間」とはどのような時間か、次のア～エの中から最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 二百年を経てようやく森の林相が安定するほどの、美しい時間。
- イ 森の安定を崩す出来事にみまわれると、忙しく動きはじめる時間。
- ウ 老木が倒れると次の新しい木が自然と芽生える、めまぐるしい時間。
- エ 数百年から千年という長い単位で世代交代が進む、ゆるやかな時間。

問3 下線部②「森の精神」とありますが、それはどのようなものか、次の空らん  にあてはまる内容を、本文中の言葉を使って、30字以上40字以内で書きなさい。

A

精神。

問4 本文中の   の部分には、どのような表現の工夫が用いられていますか。次のア～エの中から最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 名詞で終わる表現
- イ 音や様子を表す表現
- ウ 人にたとえた表現
- エ 色の表現

問5 下線部③「このこと」とありますが、これはどのようなことをさしているかを花子さんは【花子さんのまとめ】のようにまとめました。空らん  にあてはまる内容を、本文中の言葉を使って20字以内で書きなさい。

**【花子さんのまとめ】**

かつては自然の時空と人間の時空は共振していたが、  になった結果、自分たちの時間の尺度の世界に自然を追い込み、森の時空は破壊され、同時に人間も時代とともに変わる価値に追いつけられるようになったということ。

問6 次の一文は本文中の(1)～(4)のどこに入りますか。次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

だがそのとき人間たちも、また永遠という名の時空を失ったのである。

ア (1)      イ (2)      ウ (3)      エ (4)

これで、問題は終わりです。